



福祉と住環境を考える

# ふくてっく

2006年12月  
第72号

特定非営利活動法人  
ふくてっく

559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟 11F イヅミL  
TEL/FAX 06-6614-6800 ホームページ <http://www.occn.zaq.ne.jp/fukutech/>

## 住宅改修事例報告

台所と居間の段差解消 間仕切り撤去



伊丹市 88歳代後半 女性  
 コーディネーター 畑 俊治  
 施工業者 大和建设(株)  
 僕の友人からの依頼です。彼のお母さんが今年3月脑梗塞で入院、左半身不随。独居生活でした。入院前までは、自宅で書道教室の先生。退院後、自宅で車いす生活が出来るようバリアフリー化を希望。

築70年、木造。昼間は娘さんが介護、夜は一人で、車いすでトイレに行きたい。入浴はデイスサービスを利用。

住宅改修は伊丹市助成金制度(最高100万)を利用。当初計画の主な改修工事は、

- 1 玄関を広げて段差解消機を設置
- 2 台所と居間の段差解消
- 3 同右の間仕切り撤去
- 4 水廻りの整備(浴室以外)

リハビ  
 リ途中  
 車いす  
 ら、便  
 への移  
 が困難  
 が判明  
 洗式ポ  
 タブル  
 イレを  
 案しま  
 たが、  
 座が高

て(4500500)使  
 づらいとのこ  
 ポータブルト  
 サイドに設置  
 の改修はな  
 現在、娘さん  
 り、昼間はベ  
 タブルトイレ  
 オシメを使  
 のことです  
 つい最近ま  
 に専念、義母  
 り、やっと介



玄関を広げて段差解消機を設置

洗脱衣室より寝室



寝室より洗脱衣室の扉



れたと思つたら・・・  
 息子の場合、親の介護は、かなり困難ですね。女性にはほんとに、エライと思います。僕の場合、オカンが近くの老人ホームに入ってくれて、安心していきます。日曜日はオカンが好きなたこ焼きを買って持ってきます。僕は横でビールを飲んでるだけです、雨が降ろうと槍が降ろうと、毎週日曜日に必ずう僕は、施設の中で親孝行の見本になっているようです。  
 (畑 俊治)



# 春山満氏 講演会

9月30日 会場 大阪ベイ(弁天町) 300名

・現在52歳、26歳のとき筋ジストロフィーを発病、8年前、首から下が麻痺、2年前、寝返りがうてなくなつた。進行性でどうしようもない病、宿命である。「難病と闘っている春山さん・・・」中国の本で「立命」という言葉を知つた。闘つても仕方ない。自らの命を自らで保つ。尊厳まで失つてたまるか。一番大事なもの「心の健康」20数年前、僕自身が、不思議な発見をした。ある医者から3ヶ月の入院を勧められた。モルモットになるのはいや。「こんな不自由な身体にしかできない事もある」

この名称を消したい。  
・東京では一時入居金が3億という施設もある。お客さんが価格にあった価値をわかつていただいたらよい。

・僕はこの20年で、欧米の400ヶ所の施設を廻つて、研究してきた。日本では、介護についての常識を錯覚していることに気付いた。

・日本の福祉、看護、医療・・・何かがおかしい。値切られない税金でサービス。豊かになつた日本の特養で人生の大先輩に向かつて「・・・ちゃん・・・して」非常に憤りを感じた。日本を変える！20数年前に思つた。

・7年前、オリックスの宮内社長に会つた。僕の話を実際に聞いてくれた。宮内社長は日本で初めて「リース」を起こした。「ロマンとソロバンを教えしてくれたのは、春山さん、あなたが初めてです」最後に「春山さん、オリックスがこれから何をしたらいいか、教えてくれませんか？」そして、オリックスリビングを設立した。オリックス5%、春山氏5%の出資。

・本心に喜ばれて継続していくには、健全な利益が伴わなければならない。健全な利益のためには、医師も看護師も介護職も、お客様

に満足を提供して代価をいただくサービスマンでなければならぬ。  
・今までに、東京、名古屋、淡路島に2ヶ所の施設を作つた。日本は変わっていく。

・10年前、1500人の病院の理事長の前での講演で「将来、日本のベッド数は半減し、療養型病床はつぶれるでしょう」と言つた。会場は騒然とした。実際に、療養型はなくなりつつある。そもそも療養型なんて、病院か？医療とは違う。欧米には存在しない。「あなたは予言者？あなたが言うように社会が変わる・・・」7年前、「介護保険はこう変わる」と予言したことも、当たつている。

日本の場合、どんぶり勘定で線引きをする。要らないものは要らない、要らなくなる。その講演の最後に「命の長らえだけを考える病院の、90歳以上の老人でうまつている、あの4人部屋のきたないところで、あなたの人生の最後を終えたいですか？」会場はシーンとなりました。

・老いとお荷物ではない。  
・日本人の82.4%は病院で死んでいる。欧米の3.5倍。  
・人口当たりのベッド数、アメリカは日本の3分の1。しかし、高度医療は3

倍。日本には何故、無な低機能病院が多いのか？アメリカにはナーシングホーム、アセスティッドホームが330万ベッド。  
・「グッドタイムリビング」という施設名称の由来は・・・この6年間にオランダに3回行って、やつとわかつた。オランダでは医療も介護も全額無料、そのお金はどこから・・・所得税5.1%消費税5%。お金を語らずして、福祉を語るな。

・9年前に父が死んだ。父の遺言は「365日、タバコと酒をかかすな」毎日さ本のタバコと酒は続けています。人生、きれいごとだけでは窮屈。人生は狼狽なもの。潔癖だけでは生きていけない。テンマークで夜、ビールが飲みたくなつて、2時半ごろ、ある酒場に入った。大変にぎやか、しかし老人ばかり。間くと、仕事がある若者は9時ごろ帰る。ある老人に「こんなに遅くまで飲んで大丈夫ですか？」・・・「死んだら、いくらでも眠れる。このために働いてきた」グッドタイム。夕陽の時間を本心に楽しんでいる。

・僕が造る施設にはいろんなこだわりがある。「安心」と「賑わい」と「健全な狼狽さ」どこよりも終身、安心して、どこよりも介護、医療の充実。

ホームドクター制。医療と介護の連携のためクリニックを併設。医者に在宅医療を推奨。「サービスマン」の質の向上。医者も含めて、「お前たちの給料は、ゲストの満足からうまれてくる」終のすみか。もうどこへ移ることもない。クリニックは365日開業するように指示。日曜、祝日、休む理美容の店があるか？風を感じられる庭。いろんなクラブ・・・英会話、フラダンス、ソフトヨガ、ガーデンング、吉本ツアー等。知的刺激が大事。空中庭園、おでんで一杯。理美容は心のリハビリ。ナイトクラブ、ネイル・・・も「ナイトクラブのオールドパー、一杯1000円は高いんでは？」(春山)

「いいえ、私たちの笑顔がついていきます」(女性スタッフ)

全員オリックスの社員。ボランティアはいない。健全な発展をめざす。お客さんをゲストと呼ぶ。入居者と呼ぶ施設もあるが収容所ではない。

・僕らにとって風呂はご馳走。特養では寝たまま老人を風呂に入れる。僕はあれを「人間天ぶら上げ機」と名づけた。あれが風呂か？数年前、車いすのまま入れる風呂を開発した。それまでは妻が大変だった。その風呂ができてから、妻に笑

顔が見られた。介護する人の笑顔がなければ、日本の福祉はだめになる。僕たちはゲストの心を、身体を、生活を、そしてそのご家族を支えます。

・スタッフには「大企業と違う。質を落とさたら首にする。お前には辞める権利がある。しかし僕らには首にする権利がある」

・今後、日本に200の施設を計画。  
・介護保険改正の予防介護は今後なくなるでしょう。80歳のおばあさんに筋トレを勧めるのがおかしい。  
・日本のリハビリは小額でだらだら、月に30万円が標準。アメリカではこの人に本当にリハビリが必要なのかを考え、本質を見て300万円くらいかける。  
・アメリカの老人村、老人ばかり集まって・・・という意見もあるが、若者の中には危険な者もいる。子どもがうるさいと言う人もいる。50万の車がいいと言う人もいるし、500万のベンツが欲しい、車だけはいいのが欲しいという人もいる。いろんな車があつていい。いろんなタイプの施設が必要。一つのサンプルは決して理想郷とは言えない。

・今までの日本の介護がいかに非常識か！日本の介護を変えたい！

(畑 俊治)

# 木工教室

## 市民フェスタ

### おおさか

去る二月二日(土)〜三日(日)の2日間、大阪城公園太陽の広場にて第8回市民フェスタおおさかが開催され、多くの人が集まりました。2日間ともお天気が良く、日中は汗ばむような状態でした。

木工部では、初日は市民対象に、2日目は市民も含め、ふくてつきの参加者皆さんで木工遊びをしようと



の考えでスタートしましたが、結2日目は日曜日でもあり一の方達が多く、その対応に追われ大変忙しい2日間になりました。

毎回そうですがノコギリ、カナツチがメインの木工部では、どうしても参加される子ども達の一人や二人はケガされ、傷テープなしでは終わらないのが実情です。今回の催しも「イヤダナア」という顔つきのお母さんが、子ども達の意気揚々とした「サーーこ

れから木工作りするぞ」という意気込みに会場内に引っぱり込まれ、「えらいことになってしもた」と云わんばかりの顔で腕まくりし木工作業が始まります。しばらくすると、「あぶない、ウロウロしないで、あんた大丈夫なの、できるんか、イッタイ何作るの」と悲鳴のような叫び声が聞こえてきます。そこでさて、ふくてつく木工部のお出ましとばかりにお手伝いし、見事すばらしい木工作品の出来上がり。お母さんお父さん子ども達がほんとうに嬉しそうな笑顔で作品を持って木工会場から引き上げられます。

## 室生公民館の集い

奈良県宇陀市

二月26日(日) 赤松荒材を使って「ミニ・ベンチ」の製作。

今日は朝からチョットどんよりの空模様の中、7時30分に大阪市ボランティア情報センター前に集合して、一路、晩秋の「室生」へ出発。到着は9時20分頃。

室生公民館では、私たちが待っていてくれて会場の準備は万全でした。到着後すぐに教室の準備に取り掛かり、今日の生徒さん達を迎えました。参加の皆さんは子どもさんと一緒に来ていただいたお母さん、お父さん、計5組。いやもつと多かつたかな!

さて、これから始める木工・工作の簡単な説明のあと、いよいよ皆さんの手作り「ミニ・ベンチ」の製作に挑戦です。室生の生徒さん達は皆な素直で一所懸命、ノコギリ、カンナ、キリ、電動ドライバー・・・を使って、全員何とか完成までやり遂げてくれました。今日の作品はどうぞ大事に使って下さい。またお会い出来る機会を楽しみにしています。

今日の先生方「有馬、葛西、杉浦、長岩、松本、光川、後藤、池端」&本日の特講師「今谷隆良」先生。

「室生800年の歴史の里」へ私達「ふくてつきのお役立ちの」1ページが加えられました。今日のため、お世話いただいた「室生振興センターの飯降さん」、ほんとうに有難うございませう。



## 《定例会のお知らせ》

日時：第1土曜日13：30～17：00

(13：30～15：00学習会 15：00～17：00住宅改修事例報告・各部会連絡事項他)

場所：大阪市立社会福祉センター会議室 (変更の場合あり)  
H19年1月6日(土) 久保正年氏 関西雨水市民の会副会長。阪神大震災においてトイレ掃除のボランティアで悪戦苦闘されました。

テーマ 仮題「雨水利用と災害時のトイレ」

2月3日(土) 上田假奈代氏 闘う詩人・詩業家

2003年新世界フェスティバルゲートのコッルームをたちあげ、2004年NPO法人こえとことばとこころの部屋設立。

「表現と自立と仕事と社会」をテーマに、ホームレス表現活動支援や就労支援などに取り組む。

テーマ 未定

3月3日(土) 織田隆之氏 日本ヘレンケラー財団

テーマ 仮題「野宿生活者の現実」

# 合宿研修

名誉会員 岡さんの

能勢の荘

二月18日(土)～19日(日)

このたび、名誉会員になっ  
ていただいた岡さんは目は  
不自由だけど心身は、ほと  
とに健康な方ですね。必ず  
「ありがと」の言葉があ  
あって、色々な人たちとの  
出会いを大切にしておられ  
ると思います。立派な方で  
す。

今回の合宿研修は計13名の  
参加を得てほんとに盛会  
でした。何しろ、普段はな  
かなか行けない私たちの仲  
間「岡さんの荘」を使わせ  
ていただいたの嬉しい機会



第一日目の到着は皆さん  
の都合もあって全員揃った  
のは午後1時30分頃でした  
が、幹事が特に何も言わな  
くても各々仕事に当たって  
くれて予定していた時間よ  
り「えらい早い進行」にな  
りました。  
本番の研修では、やすらぎ  
の丘・佐藤施設長が今一番  
問題になっている「障害者  
自立支援法のポイントと今  
後の展開」と言うテーマ  
で、実に複雑でややこしい  
内容を分かりやすく講義し  
ていただきました。  
能勢の晩秋は夕暮れも早  
く講義が終わった頃にはも  
う外は暮れなずんでいまし  
た。

みの「能勢・  
特製ナベ」の  
始まりです。  
皆さん待ちき  
れず今か今か  
とそわそわの  
状況。お待た  
せしました。  
「岡さんの乾  
杯の発声」で  
「宴」開始。  
ここではいく  
ら大騒ぎをし  
ても誰にも迷  
惑をかけるこ  
とはない、我々  
にとっては最高  
の場所。怒っ  
てくるのは、



「イノシシそれともタヌ  
キ？」大いに盛り上がった  
頃「赤あげて・・・白あげ  
て・・・」そんなこんな  
で、夜も更けていきまし  
た。  
翌朝は小雨模様でしたが  
皆さん揃って後片付けを終  
え、各々帰路へ  
岡山さん、ほんとに有難う  
ございました。  
(池端 一義)

## ◆活動報告 7/1～11/30◆

- ◆定例学習会
  - 7/1 「私が歩んできた道」(社福) こだま会理事長 田中逸郎氏
  - 9/2 「団塊世代と格差社会と福祉」テーブルディスカッション
  - 10/7 「障がい者と接して」障がい者スポーツ指導員 神木瞳氏
  - 11/4 住宅改修事例検討会
- ◆定期総会
  - 9/2 15:30～16:50 2005年度活動報告・決算報告 2006年度活動計画・予算案、他
  - ◆理事会
    - 7/1 16:30～17:30 2006年度活動計画、他
    - 7/29 16:30～17:40 2005年度活動報告・決算報告 2006年度予算案、他
    - 10/7 9:30～11:00 定款の変更
- ◆業の検討
  - ◆住宅改修
    - A邸 大阪市内 入浴台
    - B邸 大阪市内 手すり取付け・洗台取替え
    - C邸 伊丹市 段差解消
  - ◆木工教室
    - 7/22 城東区人権啓発推進会 いきいきサマー元気フェスタ 会員参加8名
    - 8/6 旭区母と子の共励会 会員 参加4名
    - 8/19 西成区社協 母と子の夏休み木工教室 会員参加8名
    - 8/23 (株)ユーランド 小阪カルチャースクール 会員参加6名
    - 8/30 旭区社協 子ども・子育てプラザ 会員参加5名
    - 9/17 東淀川区社協 区民まつり 会員参

- 加4名 会員参
- 10/21.22 市民フェスタおおさか 加21名 会員参
- 11/11 まめっこ 北区つどいの広場 加4名 会員
- 11/23 池島ふれあいまつり 参加8名
- 11/26 室生振興センター 室生公民館の集い 会員参加8名
- ◆こむねつと部
  - 4月以降、東大阪市住宅改修助成事業適正検証活動を継続
  - 7/1 東大阪市住宅改修助成事業適正検証活動(活動フローの再点検)
  - 7/15 福祉サービス第3者評価(評価基準の検討)
  - 9/2 東大阪市住宅改修助成事業適正検証活動(業者向け説明会の検討)
  - 9/16 東大阪市住宅改修助成事業適正検証活動(同上)
  - 9/22 奈良県手をつなぐ育成会利用者のための仕事場整備に関して現地調査(杉浦・中北)
  - 10/17 奈良県手をつなぐ育成会利用者のための仕事場整備に関して吉野土木事務所へ調査(中北)
  - 10/28 ①福祉サービス第3者評価事業(至善荘に対する第三者評価企画) ②奈良県手をつなぐ育成会利用者のための仕事場整備計画調査報告 ③奈良県御所市(N邸)住宅改修に関する活動計画
  - 11/4 東大阪市住宅改修助成事業適正検証活動(次年度事業にむけて)
    - 11/11 奈良県御所市(N邸)現地調査
- ◆TOTO水環境基金助成事業への取組み
  - 10/7理事会に於いて・10/23・11/4・11/25
  - メーリングリストにて随時情報交換
  - ◆その他
    - 7/22 NPO法人福医建研究会の学習会にて、災害時のトイレについて講義 清水麗子会員
    - 9/17 合宿研修現地予備調査
    - 11/18.19 合宿研修「障害者自立支援法のポイントと今後の展開」 やすらぎの丘施設長 佐藤 宣三郎氏